



びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

Contents

全国共同制作オペラ『こうもり』制作発表会見	P2
Close-Up 藤木大地インタビュー	P3
びわ湖ホール声楽アンサンブル新メンバー座談会	P4・5
2023年夏～秋公演Pick up!!	P6
公演Report 『ニュルンベルクのマイスタージンガー』、 「びわ湖の春 音楽祭2023」	P7
『ばらの騎士』上演に寄せて①	P8
びわ湖ホールインフォメーション	P9
えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より	P10・11
びわ湖ホール25周年に寄せて	P12



全国共同制作オペラ ヨハン・シュトラウスⅡ世作曲『こうもり』制作発表会見

11月19日にびわ湖ホールの大ホールで上演する、J.シュトラウスⅡ世作曲『こうもり』の制作発表会見を5月2日に東京芸術劇場で行いました。



会見から、左より幸田浩子、阪 哲朗、野村萬斎、福井 敬、藤木大地

この公演は、文化庁の助成を得て国内の劇場と共同で新制作するもので、今回はびわ湖ホール公演で幕を開け、東京芸術劇場、やまぎん県民ホール（山形）と順に上演します。

公演の注目は、びわ湖ホールではお馴染みの狂言師、野村萬斎がオペラを初演出すること。またオペレッタの殿堂、ウィーン・フォルクスオーパーで大晦日に『こうもり』の特別公演を指揮したびわ湖ホール芸術監督、阪 哲朗が得意の演目を指揮することです。

さらに、福井 敬、森谷真理、大西宇宙、藤木大地、山下浩司、幸田浩子、与儀 巧、晴 雅彦、桂 米團治など、びわ湖ホールのオペラやコンサートなどでおなじみの日本トップクラスの豪華なキャストが揃ったことも話題を集めています。

指 揮：阪 哲朗 （びわ湖ホール芸術監督）	アイゼンシュタイン ロザリンデ	福井 敬 森谷真理
演 出：野村萬斎	フランク	山下浩司
管弦楽：日本センチュリー交響楽団	オルロフスキー公爵	藤木大地
合 唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル	アルフレード	与儀 巧
	ファルケ	大西宇宙
	アデーレ	幸田浩子
	プリント博士	晴 雅彦
	フロッシュ	桂 米團治 ほか

全国共同制作オペラ （全3幕/ドイツ語上演・日本語台詞/日本語・英語字幕付）

J.シュトラウスⅡ世作曲『**こうもり**』 **新制作**

2023年11月19日(日) 14:00開演【大ホール】

SS席15,400(14,300)円 S席13,200(12,100)円
A席9,900(8,800)円 B席7,700(7,150)円 C席6,600円 D席5,500円
E席4,400円 U30席(30歳以下)3,300円 U24席(24歳以下)2,200円

青少年割引当日券あり

友の会優先発売:7月6日(木) 一般発売:7月8日(土)

オリジナリティの強い演出をやりたい

演出：野村萬斎

「珍しいのはよいこと」という世阿弥の教えもあります。最初はオペラとオペレッタの違いもわからず、能と狂言の関係みたいなものかと思ってきました。これまで日本人のアイデンティティが生きるような演出を心がけてきたので、私のオリジナリティの強いものをやった方が皆さん珍しく思ってくださいと思いますので、開き直ってやりたいと考えています。

総合力が勝負となる作品、 芸達者なキャストが揃い楽しみ

びわ湖ホール芸術監督：阪 哲朗

10代の頃から『こうもり』をやっている、(作品について)「もっと年を取らないと、阪君わからんよ」と言われていた年齢になってきたと思います。オペレッタは、芝居ができて歌えてという総合力が勝負になります。みんな芸達者な方たちばかりなので、ものすごく楽しみにしています。

挑戦的な萬斎さんのプランにどう応えていけるか楽しみ

アイゼンシュタイン役：福井 敬

萬斎さんの演出プランは、「世紀末的なところから、新しい時代が生まれてくるところを全面に出しながらやりたい」とおっしゃっていて、とても挑戦的です。それにこちらがどう応えていけるか、とても楽しみにしています。

パンデミックを経たあとの日常と非日常を共有して 作っていききたい

アデーレ役：幸田浩子

2幕で仮面舞踏会という非日常を経験します。非日常を経験するからこそ、自分を取り巻く日常をもっと愛おしく思うのではないのでしょうか。パンデミックを経た私たちは、そういったことをより深く感じながら、皆様と一緒に(作品を)作りあげて、お客様ともそういった思いを共有していきたいと思います。

初めてこの役を歌えることをうれしく思っています

オルロフスキー公爵役：藤木大地

今回はじめてオルロフスキー公爵をやることになり、とても嬉しく思っています。この役をカウンターテナーが歌うことは珍しいのかもしれませんが、男性が男性の声を使って歌っていることに違いはないので、そこに注目して欲しくはありません。僕が初めてこの役を歌うということが大事だと自分では考えています。

クローズ・アップ

BIWAKO-HALL Close・Up

藤木大地 インタビュー

(カウンターテナー)

日本を代表するカウンターテナーの一人である藤木大地は、2020年にコロナ禍の休館を経て、再開したびわ湖ホール初の公演を大ホールで行い、聴衆に生の音楽の素晴らしさを再認識させ、感動の涙を誘いました。今年は「びわ湖の春 音楽祭」で満員の聴衆から絶賛の拍手を受けました。

このあとも「開館25周年記念 オペラ ガラ・コンサート」、共同制作オペラ『こうもり』などに出演が予定されており、ますます期待が高まります。

藤木の深く澄み渡ったファルセットが、

既存の概念を超越した「この世ならざるもの」を

表出してくれるに違いない。 文：濱 弘明(毎日新聞社・元学芸部長)

世界の第一線で活躍するカウンターテナー藤木大地がこの秋、びわ湖ホールで二つの「ズボン役」に初挑戦する。9月17日の開館25周年記念 オペラ ガラ・コンサートで『ばらの騎士』(リヒャルト・シュトラウス)のオクタヴィアンを歌い、11月19日の『こうもり』(J.シュトラウスⅡ世)ではオルロフスキー公爵に扮する。厳密に言えば、宝塚歌劇のような「女性が男性を演じる」フォーマットを踏み外すわけだが、藤木の深く澄み渡ったファルセットが、既存の概念を超越した「この世ならざるもの」を表出してくれるに違いない。

藤木とびわ湖ホールには浅からぬ縁がある。新型コロナウイルス感染症で世界中の文化芸術活動が一時休止に追い込まれた2020年、両者にとって再起の場となったのが、大ホールで7月18日に開いたリサイタルだった。藤木は予定にない1曲を冒頭に置いた。

O Röschen rot! おお、赤く小さなバラよ!

マーラーの交響曲第2番「復活」の第4楽章「原光」。天から降り注いだような歌声が、生の音楽を奪われ乾ききっていた我々の心を一瞬で潤した。「復活の一步を踏み出す劇場のために、この曲を加えることにした」。1席空きの市松模様に配置された客席は全員マスク姿。ブラボーの声も出せない中、終演後は多くが立ち上がって拍手を送った。「お客さんも僕らと同じように演奏会を待ち望んでいた」。藤木にとっても忘れがたい日となった。

そして3年後、旧知の阪 哲朗がびわ湖ホール芸術監督に就任し、新たなオファーが舞い込んだ。『こうもり』は狂言師・野村萬斎が初めて演出するオペラで、東京芸術劇場、やまぎん県民ホール(山形)との共同制作。阪は「演出には奇想天外な発想を」と求め、物語を動かすロシアの貴族オルロフスキーには「普通の人じゃない雰囲気を漂わせてほしい。藤木さんのキャラクターなら、どんな演出にも負けないはず」と期待する。藤木自身、「はまり役」と確信し、10年近くにわたって歌う準備をしてきたが、全曲公演の機会はなかなか巡ってこなかった。待望の出番で躍動する姿を目に焼き付けたい。

一方、より声域の高いオクタヴィアンは藤木にとって「全幕通して歌うとは考えられない役」。スコアに目を通して「涙が出るほど美しいメロディー」に魅了され、澤畑恵美、石橋栄実、宮里直樹、青山 貴という魅力的な共演者を得て、「リスクより好奇心が勝った」と、熟慮の末に舞台に乗せると決めた。

17歳2か月の美少年で元帥夫人の愛人、女装してオックス男爵に惚れられ、銀の薔薇を運ぶ騎士となるオクタヴィアン。劇作家ホフマンスタールが生み出した超現実的なキャラクターに、藤木ほどふざかしい歌い手が他にいるだろうか。一期一会の歌唱を聴き逃す手はない。



©hiromasa

プロフィール

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン「メデア」ヘロルド役で鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ボローニャ歌劇場にてグルック「クレーリアの勝利」、マンニオ役でヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。

新国立劇場2020/21シーズン開幕公演では、プリテン「夏の夜の夢」にオーベロン役で主演。続けてパッハ・コレギウム・ジャパンとのヘンデル「リナルド」でもタイトルロールを務め、その圧倒的な存在感と唯一無二の美声で聴衆を魅了し、オペラ歌手としての人気を不動のものにする。

2021年には3枚目のアルバム「いのちのうた」がキングインターナショナルよりリリースされた。

2022年には、新国立劇場 ヘンデル「ジュリオ・チェーザレ」トロメオ役で出演。バロックからコンテンポラリーまで幅広いレパートリーで活動を展開し、デビューから現在まで話題の中心に存在する、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。

洗足学園音楽大学客員教授。横浜みなとみらいホール プロデューサー 2021-2023。
Official Website : <https://daichifujiki.com>

公演情報

**開館25周年記念
オペラ ガラ・コンサート**
9月17日(日) 14:00開演
【大ホール】 ※詳細は6ページ

全国共同制作オペラ
J.シュトラウスⅡ世作曲
『**こうもり**』
11月19日(日) 14:00開演
【大ホール】 ※詳細は2ページ

News

北村朋幹の企画公演が佐治敬三賞を受賞

びわ湖ホールが企画し、2022年10月8、9日に行った公演が、サントリー芸術財団の第22回佐治敬三賞を受賞しました。対象となった公演は「北村朋幹 20世紀のピアノ作品(ジョン・ケージと20世紀の邦人ピアノ作品)」。

8日は滋賀県立美術館の全面協力のもとエントランスロビーで、ジョン・ケージ作曲の「プリペアド・ピアノのためのソナタとインターリュード」を演奏、9日はびわ湖ホールで、20世紀の邦人作曲家の作品を集めたコンサートを行いました。

同賞は、2001年に創設、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ成果水準の高い優れた公演に贈られるもので、滋賀県内では初めての受賞です。

県立美術館のエントランスで開催した「北村朋幹×ジョン・ケージ」



びわ湖ホール声楽アンサンブル 新メンバー座談会

2023年度から新しくメンバーになった6人を
皆さまに知っていただくために
座談会を行いました！

音楽との出会い

——まずはお一人ずつ自己紹介を。

福西: テノールの福西仁です。宝塚市出身です。中・高の6年間は吹奏楽部でホルンを吹いていて、高校は結構本番も多くて。

高田: 本気で取り組んでる高校ですね。

福西: 高2のときに『椿姫』の乾杯の歌を男女一人ずつ歌うことになり僕が歌いました。この時、もっと本格的に勉強したいなと思ったのが声楽を始めるきっかけですね。



テノール 福西 仁

——その後、ホルンは？

福西: 大学1年のときは名残惜しくて吹いてたんですけど、遊んでたらあかんなと思って、今はクロゼットの奥に片付けました。

——吹奏楽をされていた方はほかにも？

高田: ソプラノの高田瑞希です。私もアルトサクスがクロゼットの奥にあります。出身は京都で、4歳からピアノを始めて、小学校の時にドラムを習って、和太鼓も叩いたり。

大野: 幅広いですね。

高田: 小5から5年間は合唱団に在籍、吹奏楽部もやっていて、高校でこれからどうしようと思っていたら、家の裏に声楽の教室があったんです。

福西: 運命！

高田: そこに通ってみたら、「音大行けるよ」「じゃあ行きます」ってなつて、ここまで来れちゃいました。

山内: 順調な人生ですね。

高田: 運と縁に恵まれて来ました。

——次に大野さんお願いします。

大野: 大きな野原に光る星、バスの大野光星です。

福西: 名前だけでも覚えて帰ってください。

大野: 幼稚園からピアノを習っていて、もともとピアニストになりたかったんです。

一同: へ～！

大野: 小6でピアニストを挫折して。中学校の音楽の先生から歌を勧められて、週1で歌を始めたことが、この世界に入るきっかけです。

佐々木: 先生のおかげだね～。

大野: 勉強より音楽を極めようかなと音楽の高校に進み、東京藝大に。苦勞して大学院に入ったときはやっぱり音楽が好きなんだなと思いました。



バス 大野 光星

——次は山内さんお願いします。

山内: 愛知県豊田市出身、山内由香です。私は昔からできることがあまりないと思っていて、その中で音楽ならできるじゃん！と思ってがんばりました。音楽の大学、大学院と進んで、その後音楽の先生やピアノ教室もしたけど体調を崩して…。

高田: いろいろあったんだ。

山内: 最後のチャンスだ！歌って稼げる仕事はここだ！と思って、1年くらい遊ばないでカンヅメ状態で勉強とか練習して、這いつくばってここまで来ました。

佐々木: 初めて知った。

高田: 仁君が泣きそう。

福西: そんなドラマがあったんですね…。

びわ湖ホール専属のオペラ歌手、びわ湖ホール声楽アンサンブル。ソリストとしての高水準の実力だけでなく、アンサンブル、合唱の中核となる優れた声楽家集団として注目を集めています。2023年度もオペラ公演や定期公演を行うほか、音楽の普及活動にも取り組みます。ソリストとして国内外の劇場等での出演や、コンクールでの受賞など幅広く活躍する歌手を輩出しています。

——では次に西田さんお願いします。

西田: バスの西田昂平と申します。三重県鈴鹿市出身です。仁君と大野君と同じ、今年で28歳になります。父はホルン、母はクラリネット、姉はピアノ、おじいちゃんはサクソ、おばあちゃんは詩吟をやってて。

佐々木: 音楽一家だね！

西田: 小さい頃はエレクトーン、中学、高校はトランペットをやったんですけど、僕は社会の先生になりたいくて…。

山内: 社会の先生にこそ！

西田: でも、高校2年で勉強とトランペットに挫折して、落ち込んでたときに父から歌を勧められて、先生からは東京藝大を勧められて、覚悟を決めて受けました。

山内: それで合格したんだから優秀だね。

西田: 卒業後は、志望していたドイツの大学に進学できなくて、また挫折。裏方の仕事や、米原の文産会館の職員採用試験を受けて。

一同: え？そうなの。

西田: 面接のときに声楽アンサンブルは受けないの？と言われました。それから地元の三重でパッハの合唱団を1年間やって、やっぱり自分は歌が好きやなと思って。声楽アンサンブルをイチかバチか受けて、今に至ります。

——最後に佐々木さんお願いします。

佐々木: 奈良県出身、ソプラノの佐々木真衣です。皆さんが音楽に触れていたとき、私は泥だんごを作っていました(笑)。

大野: みんな作ってたよ、泥だんご。

佐々木: 高校3年の進路を決める時に音楽が好きやから音楽に進みたい！と思ったのはいいんですけど、何もやってなかったの。

大野: 泥だんご作ってただけだもんね。

佐々木: 楽器もできないので、進める道が歌しかなくて。高校3年から必死で勉強して、京都市立芸術大学、大学院まで進ませてもらいました。大学の先輩の奥本凱哉さん、藤居知佳子さんがびわ湖ホールで活躍されていて、こんなに素晴らしい劇場で私も歌いたいと思って受けました。



バス 西田 昂平

入団からこれまで

——春からの1か月、いかがでしたか。
4月22日には定期公演もありました。

高田: 全部が初めてやから、全部が怖かった。

大野: 本当に毎日歌うんだ！と思ったよね。これがプロかーって。

山内: 楽譜こんなに？って。

西田: はい次、はい次、みたいなの。

福西: 練習でもずっと緊張してたんですけど、(指揮の)田中信昭先生が「君たちは音を出してるんじゃない、音楽をしているんだ」っておっしゃったときに、そうか！と思いました。

大野: 大学の公演とは全然違いました。

西田: 合唱をほぼ経験してこなかったんで、先輩からアドバイスをもらいながら練習するのはいい経験でしたし難しいことでした。



アルト 山内 由香

——信昭先生の言葉で、ほかに印象に残っているものは？

福西: 「本番で絶対君たちにやってほしいことがあるんだ」って言われたんで、何やろと思ったら「リラックス！」って。

佐々木: あったあった！

福西: しびれましたね。先生はどれだけ厳しい言葉で指導されたとしても、指揮棒を振り上げるときは必ず笑顔。

みんなで
びわ湖ホールの
顔になれるよう
がんばります！



大野: 厳しいんですけど、本当にうまくいったときは「うまいね～」って。

高田: 「何で君たちこんなにうまいのー！」って褒めてくださるんです。うれしかったね。

佐々木: 先生に会いたくなってきちゃった。

大野: 95歳であれだけできる。最初の公演をレジェンドとともに始めさせてもらいました。



ソプラノ 高田 瑞希

——「びわ湖の春 音楽祭」はいかがでしたか。

山内: 声楽アンサンブルのチケットが売り切れていることを3日前に知って、音楽祭ってすごいんだ…とびっくりしました。親の分のチケットを買えませんでした。私、びわ湖ホールへの熱い想いを持ってるはずなんですけど。

高田: 山内さんは一番お姉ちゃんなのにいつもこんな感じ(笑)。私は大学生のときも、びわ湖ホールの音楽祭は朝イチから来て、大学に戻って練習して、また夜の公演を聴きに来て。

佐々木: 音楽祭を楽しんでたんだね。

高田: だから今年自分が出てるのがうれしくて。「オペラへの招待」も必ず来てたんです。同じ演目でもキャストが違う日に観に来てました。師匠の清水徹太郎先生と一緒に歌いたいって思っていました。

——実は大野さんには声楽アンサンブルの東京公演でお世話になってます。

大野: 東京文化会館ですよ！僕、あの時レセプションистのマネージャーでしたからね。

山内: えー！そうなの？

——その方が声楽アンサンブルに入団されるとはまさかです。

大野: まさか自分があの後びわ湖ホール声楽アンサンブルを受けて、ここに入るって、想像もしてなかったですもん。

福西: すてき繋がりですね。

——学校巡回公演は、行ってみてどうですか。

佐々木: めっちゃ楽しい！

山内: 元気をもらってます。

高田: 支援学校に行ったんですけど、全身で子どもたちが楽しんでいることを表してくれて、こっちが泣きそうになって。仁君泣いてたよね。

福西: (うなずく)。子どもたちと合唱曲Believeを歌うんですけど、泣いてしまいました。

高田: 鼻水出るくらい号泣してた。

福西: 子どもたちはすごく正直な反応をするので、ほんまに音楽的にいいものを聴いてもらいたいと思います。

これからの1年

——この1年間で楽しみなことは？

大野: 僕、東京生まれ東京育ちなんですけど、来年3月の東京公演で自分の働いていた東京文化会館にびわ湖ホールのメンバーとして戻れるのが楽しみです。

西田: あー、そうか！

大野: 元職場に演奏する側で立てるのが感慨深いですね。

福西: それはうれしいな。

大野: 東京文化って、地下の楽屋エリアに名だたる人たちのサインが壁一面にあつて、そこに名を刻んでやりたいと思っています。

西田: 僕は10月の『フィガロの結婚』が楽しみです。大学院の修士で論文を書いたので思い入れがあつて。

山内: 私も『フィガロの結婚』ですね。ケルビーノ役をやらせてもらいます。20代の間にケルビーノ役をするという夢が叶いました。もうびわ湖ホールに入れるだけでよかったんですけど、一番やりたかった役をびわ湖でやらせてもらえるの～!! って。全身全霊で取り組みます。

福西: 僕は、入って1か月ちょっとで、声も精神的な面も成長していると実感していて、この短期間でこれだけ変わったということは1年経ったらどうなるんやろと思っています。

佐々木: 私は8月の「美しい日本の歌」の公演で、懐かしいJポップの歌とか唱歌を合唱で歌うのが楽しみです。親が聴いていて、小さいころから知っている曲ばかり。

高田: 私は全部の公演が楽しみです。同期もいい感じで、先輩方も優しいし、すごくいいメンバーだけど、このメンバーで歌えるのはこの1年だけだから。

大野: そうだね。

高田: 全部の活動を大切にしたいですし、みんなでびわ湖ホールの顔になれるようがんばりたいです。

佐々木: なろう、なろう！

福西: そのために緊張せずに「リラックス！」ですね。



ソプラノ 佐々木 真衣

これからの主な活動

びわ湖ホール声楽アンサンブルセタロビーコンサート
7月2日(日) びわ湖ホール メインロビー

林 康子 声楽曲研修
7月21日(金)～23日(日) びわ湖ホール 小ホール

びわ湖ホール声楽アンサンブル 美しい日本の歌
8月 5日(土) びわ湖ホール 大ホール
8月12日(土) 文化産業交流会館 特設舞台「長栄座」

開館25周年記念 オペラ ガラ・コンサート
9月17日(日) びわ湖ホール 大ホール

オペラへの招待 モーツァルト作曲『フィガロの結婚』
10月7日(土)～9日(月・祝)・14日(土)～16日(月) びわ湖ホール 中ホール

オペラへの招待 オッフェンバック作曲『天国と地獄』
12月21日(木)～24日(日) びわ湖ホール 中ホール

〈第78回定期公演〉The オペラ！
2024年3月23日(土) びわ湖ホール 小ホール
〈東京公演vol.14〉2024年3月24日(日) 東京文化会館 小ホール

ほかにふれあい音楽教室、県内巡回オペラ『泣いた赤おに』などを予定。



びわ湖ホール
声楽アンサンブル
紹介ページ

2023年夏～秋 公演 Pick up!!

開館25周年記念 オペラ ガラ・コンサート

西日本最大のオペラの殿堂と呼ばれるびわ湖ホール25周年を、プロデュースオペラなどでもおなじみの日本を代表する歌手によって、盛大に祝います。

指揮：阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督) [曲目]
出 演：澤畑恵美、石橋栄実、藤木大地、宮里直樹、
青山 貴、びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽：京都市交響楽団
ワーグナー：『タンホイザー』より“歌の殿堂をたたえよう”
R.シュトラウス：『ばらの騎士』より終幕の三重唱
ヴェルディ：『リコレット』より“女心の歌”
ヴェルディ：『ドン・カルロ』より
“われらの胸に友情を” ほか

9月17日(日) 14:00開演【大ホール】

SS席7,700(7,150)円 S席6,050(5,500)円 A席4,950(4,400)円 B席3,850円
C席3,300円 青少年(24歳以下)S～C席2,200円 シアターメイッツS～C席1,100円
友の会優先発売:6月23日(金) 一般発売:6月25日(日)

びわ湖ホール声楽アンサンブル 美しい日本の歌

びわ湖ホール声楽アンサンブルが、唱歌や童謡、昭和・平成に親しまれた歌謡曲、Jポップを熱唱する大人気のシリーズ。誰もが知る名曲を声楽アンサンブル特別アレンジで、オーケストラをバックとした演奏でお届けします。



指揮：本山秀毅(びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者)
出 演：びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽：京都フィルハーモニー室内合奏団

[曲目] “歌い継ぎたい日本の歌”
江州音頭、花の街、リンゴの唄、ふるさとの四季、大地讃頌
“昭和・平成のヒット曲”
銀河鉄道999、青い珊瑚礁、ルビーの指環、やさしさに包まれたなら
恋のダイヤル6700、春一番、YAH YAH YAH、さとうきび畑
いのちの歌、あの素晴らしい愛をもう一度

びわ湖ホール公演:8月5日(土) 14:00開演【大ホール】
米原公演:8月12日(土) 14:00開演【文化産業交流会館】

びわ湖ホール公演:一般2,750円 青少年(24歳以下)1,100円
シアターメイッツ550円
米原公演:一般2,750円 青少年(24歳以下)1,100円
びわ湖ホール公演、米原公演 共にチケット発売中

びわ湖ホール声楽アンサンブル 「七タ」ロビーコンサート

琵琶湖の美しい景色を背景に行う「ロビーコンサート」はコロナ禍で2020年から中止していましたが、約3年半ぶりに復活。
びわ湖ホール声楽アンサンブルが七タや星にちなんだプログラムをお届けします。乳幼児、未就学児も大歓迎。ご家族皆さままでぜひお越しください。「七タさま」をみんなで一緒に歌いましょう。



2019年のロビーコンサートの模様

7月2日(日) 午前の部 11:00～11:30
午後の部 14:00～14:30

びわ湖ホール メインロビー 入場無料 事前申し込み不要

出演：大川修司(指揮)、関口康祐(ピアノ)、びわ湖ホール声楽アンサンブル
[曲目] 琵琶湖周航の歌、ほたるこい、夏は来ぬ、星めぐりの歌、七タさま
※午前の部・午後の部は一部を除き同じプログラムです。 ほか

[問い合わせ] びわ湖ホール事業部 077-523-7150
(10:00～17:00/火曜休館、休日の場合は翌日)



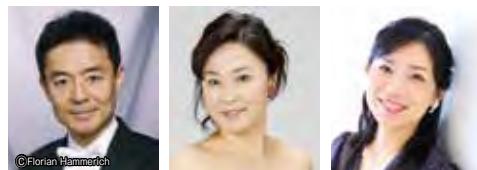
田村 響

25周年記念企画 シアターメイッツ会員無料招待

〈名曲コンサート〉田村 響 ピアノ・リサイタル

※このコンサートは、びわ湖ホール開館25周年を記念して、シアターメイッツの会員は無料でご招待します。(要申込。詳細はびわ湖ホールホームページで)

2007年、弱冠20歳で世界の最も権威のあるコンクールのひとつ、ロン＝ティボー国際コンクール(現ロン＝ティボー・クレスパン国際コンクール)において第1位を獲得以来、その安定した技術、そして優れた音楽性から室内楽奏者としてソリストとしても活躍を続ける田村 響が登場。ピアノ作品の名曲ばかりを集めた圧巻のプログラムをお贈りします。



阪 哲朗



澤畑恵美



石橋栄実



藤木大地



宮里直樹



青山 貴

マーラー・シリーズ 沼尻竜典×京都市交響楽団 マーラー 交響曲第7番「夜の歌」

2020年より始まったシリーズ第4弾。沼尻竜典桂冠芸術監督が引き続き指揮を務め、京都市交響楽団と共に密度の高い演奏をお贈りします。2023年3月の交響曲第6番でも複雑なスコアを見事に読み解き、観客を熱狂させた演奏が脳裏に残る中、今回の演奏にも期待が高まります。

8月26日(土)

14:00開演【大ホール】

S席5,500(4,950)円
A席4,400(3,850)円
B席3,300円 C席2,200円
青少年(24歳以下)1,650円
シアターメイッツ770円

チケット発売中



京都市交響楽団



沼尻竜典

日本音楽財団・全国公立文化施設協会共同事業
ストラディヴァリウス・コンサート

ヴェロニカ・エーベルレ ヴァイオリン・リサイタル

エーベルレは、ドイツ生まれ。2006年には17歳でサイモン・ラトルに抜擢され、ベルリン・フィルとベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を共演し、国際的に注目されました。その後もロイヤル・コンセルト・ヘボウ管などの名門楽団と共演する一方で、ニューヨーク、カーネギーホールでリサイタルを行い、日本でもNHK交響楽団などと共演し、ソロ・リサイタルも行って高く評価されているヴァイオリニストが名器ストラディヴァリウスを奏でます。

ピアノ：山田武彦

[曲目] チャイコフスキー：なつかしい土地の思い出
バルトーク：ラプソディー 第1番
ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第1番「雨の歌」 ほか

9月9日(土) 14:00開演【小ホール】

一般3,850円 青少年(24歳以下)1,650円 友の会優先発売:6月23日(金)
助成:日本財団 一般発売:6月25日(日)



ヴェロニカ・エーベルレ



山田武彦

スタインウェイ“ピノ”シリーズ vol.9

日本語とうた ～言葉としての日本語、そして日本のうた～
木下牧子と信長貴富

ピアニストでありプロデューサー、指揮者としても活躍する河原忠之とともに「日本の歌」を紹介するシリーズ第3弾。声楽作品で絶大な人気を誇る木下牧子と信長貴富を取り上げます。

ピアノ・お話：河原忠之
出演：船越亜弥、山際さみ佳、山本康寛、迎 肇聡
(びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー)

[曲目]

【第1部】信長貴富：きみ歌えよ、歌曲、ヒスイ、ある日、髪、川、未来へ
寺山修司の短歌による6つの歌曲「チエホフ祭」、
赤とんぼ、この道、夕焼け

【第2部】木下牧子：おながく、いっしょに、歌曲集「花のかず」、春に、夢みたものは…

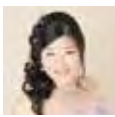
9月2日(土) 14:00開演【小ホール】

一般3,300(2,750)円 青少年(24歳以下)1,100円

チケット発売中



河原忠之



船越亜弥



山際さみ佳



山本康寛



迎 肇聡

9月3日(日) 14:00開演【大ホール】

S席3,300(2,750)円 A席2,200円 青少年(24歳以下)1,100円

チケット発売中

[曲目] ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第23番「熱情」へ短調 op.57
ショパン：幻想即興曲、華麗なる大円舞曲、ノクターン op.9-2
モーツァルト：ピアノ・ソナタ第10番 K.330
ドビュッシー：月の光
シューベルト：即興曲 ほか



びわ湖ホール プロデュースオペラ

ワーグナー作曲

2023年3月2日(木)・5日(日)

『ニュルンベルクのマイスタージンガー』

快挙！ワーグナーの主要オペラ10作をびわ湖ホールで沼尻が指揮

今年の3月までびわ湖ホール芸術監督を務めた沼尻竜典が指揮し、ワーグナーのオペラ10作目となる『ニュルンベルクのマイスタージンガー』を上演しました。これによって、ワーグナー自身がパイロイト音楽祭で上演を推奨した10本のオペラを同一の劇場で一人の指揮者が完遂したのは日本初の快挙となりました。

びわ湖ホールでのワーグナー上演の総決算となる公演にふさわしい青山 貴、福井 敬、森谷真理、黒田 博、妻屋秀和、大西宇宙、チャールズ・キム、高橋 淳、斉木健詞、平野 和などの豪華キャストに加え、清水徹太郎・松森 治(びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー)の活躍

も高く評価されました。

コロナ禍が収束しない中、今回も栗國 淳がステージングを行うセミ・ステージ形式での上演となりましたが、人間同士の葛藤が描かれる作品だけに、背景に象徴的な映像を映し、その場に応じた登場人物の配置など様々に工夫を凝らした舞台となりました。

この舞台で、歌手陣と京都市交響楽団をまとめた沼尻の手腕は、「沼尻指揮 柔らかく、優しく」、「ワーグナー 10作品 爽やかに完結」、「25年の歩みが紡いだ大団円」など、主要新聞の東京版、大阪版の演奏会評で絶賛されました。



第3幕五重唱 左より、福井 敬(ヴァルター)、森谷真理(エファ)、八木寿子(マグダレーネ)、青山 貴(ザックス)、清水徹太郎(ダフィット)

第3幕より
左より、青山 貴(ザックス)、黒田 博(ベックメッサー)



第3幕幕切れ

「びわ湖の春 音楽祭2023」

2023年4月29日(土・祝)・30日(日)

ゴールデン・ウィークに「ウィーンの風」をテーマに大・小ホールで12公演を行いました。



ウィーンをイメージしたホール入口

4月にびわ湖ホール芸術監督に就任した阪 哲朗の初プロデュースとなった今回の音楽祭。テーマは、阪の音楽キャリアの出发点となり、いまでも思いを寄せる音楽の都「ウィーン」に設定。さらに、阪が芸術監督就任後、初めて指揮する機会となり多くのメディア、音楽ファンから注目されました。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行をゴールデン・ウィーク後に控え、大ホールと小ホールを使った12公演が行われ、中ホールでは滋賀県とオーストリアの友好関係を示す「オーストリア体感広場」も昨年に続いて行いました。

阪は3公演を指揮、中嶋彰子とのオペレッタプログラム、ベートーヴェンの交響曲第7番、梯 剛之のピアノでモーツァルトのピアノ協奏曲第21番、交響曲第36番「リンツ」など、ウィーンで活躍した作曲家の作品の充実した演奏を繰り広げました。

また、びわ湖ホール声楽アンサンブルは巨匠田中信昭の指揮、同ソロ登録メンバーは、「0歳児からのコンサート」で、それぞれの個性を遺憾なく発揮して、会場を沸かせました。



「0歳児からのコンサート」
出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー



多くの人で賑わった「オーストリア体感広場」

観客の方から好評価を得ながらも、コロナ前の賑わいを求める声も聞かれました。

- この春から、音楽祭に「びわ湖の春」に冠がつき、琵琶湖(自然)大好きな人間のため、とてもうれしく思います。昨日、今日とたくさんの素晴らしい演奏を楽しめました。
- バンドミック前に比べて、公演の数が少ないのは少々不満。室内楽のプログラムをもっと増やして欲しい。
- ソリストも素晴らしいだったが、指揮者の表現、リズムのキレの良さに感動。ウィーン古典派以外のプログラムにも期待したい。

お客様の声
(アンケートより)

びわ湖ホール プロデュースオペラ
リヒャルト・シュトラウス作曲

ばらの騎士

びわ湖ホールが総力を挙げて制作する「プロデュースオペラ」に2023年4月に第3代芸術監督に就任した阪 哲朗が登場します。

阪が最初の演目として取り上げるのは、リヒャルト・シュトラウスの『ばらの騎士』です。
この作品は、ハプスブルク家の黄金期の古き良き時代のウィーンを舞台に、ウィнна・ワルツの甘い調べを背景に、貴族たちの恋愛模様と移ろいゆく世相を見事に表現した傑作です。

阪は、自らの原点を「ウィーン」と話し、ヨハン・シュトラウスⅡ世の音楽やR.シュトラウスがこのオペラの模範としたモーツァルトの作品も得意としていることから、上演への期待も膨らみます。
コロナ禍でプロデュースオペラは、セミ・ステージ形式を採ってきましたが、今回は2019年以来、4年ぶりとなる本格的な舞台上演でお贈りします。

甘美な陶酔のオペラ『ばらの騎士』 —その聴きどころ—

音楽評論家 東条碩夫

『ばらの騎士』は、リヒャルト・シュトラウスの数あるオペラの中でも、最も人気の高い作品である。そのさまざまな魅力の、おそらく最大のものは、全曲の基盤を成す優麗で甘美な、官能的で陶酔的な音楽であろう。前々作『サロメ』や前作『エレクトラ』の激烈で不気味な音楽から突然一転したこの美しい作風は、何を意味するのだろうか？

いわゆる「シュトラウス節」の、この官能的な美しさに酔いたければ、まず第1幕の冒頭、元帥夫人とその若き貴族オクタヴィアンとの愛の場面を聴いてみるといい。次いでは同幕の幕切れ、元帥夫人が自らの年齢と、いずれは失われることになる若き恋人との愛を想い、憂鬱な物思いに沈む場面の音楽が素晴らしい。だが「シュトラウス節」の本領は、第2幕の初め、オクタヴィアンがオックス男爵の代理として、その結婚の相手たる少女ゾフィーのもとへ「結納品」ともいうべき一輪の「ばら」を届け、一目で相思相愛の雰囲気になってしまう場面の音楽で全開する。ここでのとろけるように美しい、しかも気品のある神秘的な音楽は、一度聴いたら忘れられないだろう。

さらに極め付きは、第3幕の最後に置かれた元帥夫人、オクタヴィアン、ゾフィーによる三重唱と、そのあとのオクタヴィアンとゾフィーとの愛の二重唱だ。若いオクタヴィアンがゾフィーに恋してしまったのを知って自らは身を引こうと決めた元帥夫人、それに気がついたオクタヴィアンの動揺、その気配にただならぬものを感じて迷うゾフィー。三者三様の想いが交錯するこの個所は、古今のオペラの三重唱の最高傑作とまで言われるものだ。メトロポリタン・オペラの名花ルネ・フレミングは、「この三重唱を歌っている時の幸福感は何ものにも代えられません」と語っていたが、聴き手にとっても同様であろう。「シュトラウス節」の極致である。

なおもうひとつこのオペラには—これは有名なものだが、『ばらの騎士』のワルツ』という曲がある。このすてきなウィнна・ワルツは第2幕の終りに出て来るものだが、意外にもそれは、好色ですこぶるマナーの悪いオックス男爵(ただしシュトラウスはこの男を、決して過度に下品な性格として演じぬように、と指示している)がご機嫌で口ずさむ歌として使われている。彼がこのワルツを歌うのを聴くと、その曲の良さのおかげで、男爵がいつべんに愛すべき人物と化してしまうから面白い。このフシも、一度聴いたら忘れられないものだ。
『ばらの騎士』の音楽の魅力は、これらだけではない。全篇が「シュトラウス節」だと言っても過言ではないほど、壮麗で機知に富んだ音楽に溢れているのである。



「ばらの騎士」が1911年1月26日に初演されたザクセン州立歌劇場(当時はドレスデン宮廷歌劇場)



(Profile) 東条碩夫 Tojo Hiroo
早稲田大学卒。FM東京で「TDKオリジナル・コンサート」をはじめクラシック音楽番組の制作全体に携わる。1975年文化庁芸術祭大賞受賞番組(武満徹作曲「カトレン」委嘱)制作。FM東京制作一課長、「ミュージックバード」(CS・PCM衛星放送)編成部長等歴任。
現在はフリーの評論家として新聞・雑誌等、テレビやFM番組に出演。2007年よりブログ「東条碩夫のコンサート日記」を公開。日本ワグナー協会評議員。著書に「朝比奈隆ベートーヴェンの交響曲を語る」(中公文庫)、「伝説のクラシック・ライブ 収録現場からみた20世紀の名演奏家」(Tokyo FM出版)

びわ湖ホール プロデュースオペラ
R.シュトラウス作曲
『ばらの騎士』
(全3幕/ドイツ語上演・日本語字幕付)

2024年3月2日(土)・3日(日)
両日とも14:00開演【大ホール】

指揮:阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
演出:中村敬一
出演:元帥夫人:森谷真理/田崎尚美
オックス男爵:妻屋秀和/斉木健詞
オクタヴィアン:八木寿子/山際さみ佳*
ファーニナル:青山 貴/池内 響
ゾフィー:石橋栄実/吉川日奈子
マリアンネ:船越亜弥*
ヴァルツァック:高橋 淳 ほか
合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽:京都市交響楽団
※びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

SS席22,000(20,900)円
S席19,800(18,700)円
A席16,500(15,400)円
B席14,300(13,200)円
C席11,000円 D席8,800円 E席5,500円
U30席(30歳以下)3,300円
U24席(24歳以下)2,200円
2公演セット券(S席)35,200(33,000)円

青少年割引当日券あり
友の会優先発売:11月2日(木)
一般発売:11月4日(土)

びわ湖ホールからのお知らせ

「びわ湖ホール友の会」 会員募集中

一般会員

チケットの優先・優待販売や
無料郵送、公演情報のご案内、
館内レストランサービス、提携
ホテルの利用割引などの特典・
サービスを提供いたします。

年会費 2,500円(税込)
<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

サポート会員

一般会員のサービスに加え、主催
公演へのご招待、オペラ公演の
ゲネプロ(総稽古)へのご招待
など、お得にお楽しみいただけ
ます。

年会費 一口につき10,000円(税込)
<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する事業に賛同し、
これを支援してくださる企業・個人様向けの会員制度です。

□主催公演へのご招待 □チケット優先予約・無料郵送 □ゲネプロへご招待
□情報誌やホームページへの会員名掲載 □メインロビーへの会員名掲示 など
詳しくはホームページをご覧ください。
年会費 一口につき100,000円(税込) 入会金不要 <お問い合わせ> びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部 TEL.077-523-7140

《特別会員》のみなさま
アマノマネジメントサービス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/株式会社アルファス/一圓テクノス株式会社/いなみ矯正歯科/上原恵美/エスペンサー株式会社/株式会社栄光社/SMBC日興証券株式会社大津支店/NTT西日本滋賀支店/近江鍛工株式会社/大岸 実/大谷 巖 蔵公認会計士事務所/大津商工会議所/岡崎洋一/おかもと眼科クリニック/株式会社奥田工務店/小倉美佐子/オブテックスグループ株式会社/オリックス・ファシリティーズ株式会社滋賀支店/株式会社関西みらい銀行/木村水産株式会社/京都信用金庫滋賀本部/京都橋大学/株式会社きんでん滋賀支店/株式会社キントー/草津電機株式会社/granlumieグラルミエ/京滋舞台芸術事業協同組合/京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社 琵琶湖ホテル/甲賀高分子株式会社/小高得史/株式会社コングレ/株式会社笹川組/さざなみ法律事務所/株式会社佐藤総合計画関西事務所/三精テック/ロジース株式会社/株式会社しがぎん経済文化センター/株式会社滋賀銀行/滋賀近交運輸倉庫株式会社/滋賀県信用金庫協会/滋賀県信用保証協会/滋賀ヤサカ自動車株式会社/株式会社自然総研/株式会社清水屋呉服店/株式会社十字屋/公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和バルブ製作所/株式会社スマイ印刷/学校法人純美禮学園/成安造形大学/瀬田医院/ダイハツ工業株式会社 滋賀(竜王)工場/株式会社ダイフク滋賀事業所/タカヒサ不動産株式会社/高谷トマト/株式会社淡海/ちばレディースクリニック/塚本社会保険労務士事務所/株式会社DGコミュニケーションズ/株式会社天下一品/東洋ワークセキュリティ株式会社/トヨタモビリティ滋賀株式会社レクサス大津/西川 望/日新薬品工業株式会社/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メンテナン株式会社/日本メンテナン株式会社大津支店/株式会社ネットワークキングステーション/野村證券株式会社大津支店/羽泉正浩/バウ・クリエイティブ株式会社/長谷川公認会計士事務所/パナソニックEWエンジニアリング株式会社近畿支店/公益財団法人ハン六文化振興財団/株式会社日立建機ティエラ/日野精機株式会社/株式会社ビルディング・コンサルタントワイズ/びわ湖大津プリンスホテル/琵琶湖汽船株式会社/びわこ成蹊スポーツ大学/びわ湖放送株式会社/ふくた診療所/藤井絢子/富士通Japan株式会社/兵神装備株式会社滋賀事業所/ホテルブルーレーク大津/増山公昭/株式会社松村電機製作所関西支店/豆藤/株式会社みずほ銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/宮川印刷株式会社/music square 芝蘭会/株式会社村田製作所野洲事業所/八百久/山科精器株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所/山本 英司/税理士法人山本会計/ヤンマーグローバルエキスパート株式会社/横田昌和公認会計士事務所/立命館守山中学校・高等学校/龍谷大学吹奏楽部/ロマン楽器株式会社/株式会社ワコール/和田 厚幸/渡辺朗夫
(五十音順・敬称略・一部非掲載/2023年6月1日現在)

舞台芸術の力でみなさまに感動と笑顔をお届けしたい! ~舞台芸術創造活動にみなさまのご支援を~

びわ湖ホールでは、誰もが身近に舞台芸術に触れられるよう、様々な事業を展開しております。質の高い舞台芸術を創造する取り組みに、皆さまの深いご理解と多くのご支援をいただきました。ご芳名はびわ湖ホールのウェブサイトにご紹介させていただいております。

素晴らしい舞台芸術を創造し、より多くの方に手軽にお楽しみいただくためには、関係者の熱意とたゆまぬ努力はもちろんのこと、皆さまの深いご理解とご支援が必要です。

「公益財団法人」である当財団へのご寄付については、税制上の優遇措置が適用されます。ウェブサイトからもお手続きいただけますので、舞台芸術の振興のため、引き続きご支援をお願いいたします。

<お問い合わせ> びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部 TEL.077-523-7140 詳しくは、びわ湖ホールホームページをご覧ください。https://www.biwako-hall.or.jp/



シアターメイツ会員募集中

シアターメイツは子どもたちに気軽に舞台芸術を楽しむいただく会員制度です。シアターメイツ優待公演は青少年チケット料金の約半額でお楽しみいただけます。舞台芸術を“生”で観て、聴いて、心を育む体験をぜひ!
猫印の公演はシアターメイツ優待公演です。
<ご入会方法など詳しくはホームページをご覧ください。>

びわ湖ホールを借りるには

びわ湖ホールでは大ホール・中ホール・小ホール・リハーサル室・練習室・研修室の貸館を行っております。音楽、演劇、舞踊など舞台芸術の公演や練習、各種大会等にご活用ください。
施設利用のお申し込み方法、ご利用料金、ホールの空き状況など詳しくはお問い合わせください。
<お問い合わせ> びわ湖ホール管理部 TEL.077-523-7135

滋賀県立文化産業交流会館

Art journey

えいじゃに

※Art journeyからネーミングした「えいじゃに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

35th
滋賀県立文化産業交流会館

「長栄座伝承会 むすひ」いよいよ完結！

8月5日(土)～12日(土)まで芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバルを開催します。今年のポイントは、「琵琶湖」や「竹生島」をテーマにした演目が豊富で、滋賀の魅力が公演で味わえることです。

第一線でご活躍の古典芸能実演家が「むすひ(結び)」の名のもとに集い、3年計画で進めてきた「長栄座伝承会 むすひ」も今年で完結！お見逃しなく。

芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル ラインアップ 8月5日⁺～8月12日⁺

8月5日^土・6日^日 14:00開演 長栄座伝承会 むすひ ～東西を結び 刻を結び 乾坤を結ぶ～

第1部 〈邦楽アラカルト〉湖国神在祭 ～尺八による水鳥の二景～

都山流尺八本曲「鶴の巢籠」 尺八 野村峰山(人間国宝)
野村峰山作曲「鳩の海に」 尺八 野村峰山 十七絃 野村祐子



野村峰山

幕間 野村峰山作曲「一つのまゆから」 長浜市立伊香具小学校児童

第2部 駅名連歌 まいばらはつ ～北陸本線金沢ゆき～

新作初演
箏・十七絃・三弦 野村祐子、滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」 尺八 川崎貴久
合唱 長浜市少年少女合唱団「輝りキッズ」 舞踊 古典芸能キッズワークショップ日本舞踊修了生

第3部 響鳴 ～日本三大弁財天と宇賀神将十五王子～近江竹生島大弁財天と五王子

新作初演
箏曲 萩岡松韻、萩岡松柯 ほか 長唄 杵屋佐吉、杵屋佐喜 ほか
能(謡) 渡邊荀之助、渡邊茂人 ダンス 中村香耶



切り絵:早川鉄兵

チケット情報→



[料金] 一般 3,500円
青少年(24歳以下) 2,000円
全席指定 チケット好評発売中

8月11日^{金祝} 15:00開演 片山九郎右衛門 親子で楽しむ日本の伝統芸能～能「大会」

能「竹生島」の舞囃子:古橋正邦、浦部幸裕 ほか
絵本語り「天狗の恩返し」:片山九郎右衛門 ほか
能「大会」:片山九郎右衛門 ほか



片山九郎右衛門

〈ワークショップ 13:00開始〉

小学生を対象に謡と仕舞のワークショップを行い、公演時にその成果を披露します。

講師:田茂井廣道、橋本光史、橋本忠樹



↑チケット情報

[料金] 一般 1,500円 青少年(24歳以下) 500円 全席指定
ワークショップ(小学生対象):無料(要申込) チケット好評発売中

8月12日^土 14:00開演 びわ湖ホール声楽アンサンブル『美しい日本の歌』米原公演vol.3

唱歌や童謡、昭和から平成を彩った懐かしいメロディーを、日本情緒あふれる芝居小屋「長栄座」でお楽しみいただきます。

独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル
指揮:本山秀毅(びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者)
管弦楽:京都フィルハーモニー室内合奏団

[料金] 一般 2,750円
青少年(24歳以下) 1,100円
全席指定 チケット好評発売中



チケット情報→

5月24日^水「長栄座伝承会むすひ」制作発表を行いました



第1部～第3部までの出演者や竹生島宝厳寺管主に登壇いただき、各演目の見どころを発表しました。現地とオンラインを合わせて13社の報道関係者にご参加くださいました。

登壇者
野村峰山(のむらほうざん) (第1部出演、尺八演奏家・人間国宝)
鳥塚貴絵 (第2部児童合唱指揮、長浜市少年少女合唱団「輝りキッズ」指導者)
萩岡松韻(はぎおかしょういん) (第3部出演、箏・三弦演奏家) ※オンライン参加
峰覚雄(みねかくゆう) (竹生島 宝厳寺 管主)
中村 豊(構成・演出)
竹村憲男(館長)
川島 宏(総括プロデューサー)

長栄座をさらに楽しむプレ企画

～地域の文化資源の劇場への活かし方～竹生島を題材に

芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバルでは、「竹生島」に着目する企画が多数。この講座に参加してから公演を観ると面白さ倍増です。

7/2(日)開催 ※申し込み受付中

芸能における「竹生島」～「竹生島」を演じる

講師:小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)
ゲスト:田茂井廣道(観世流能楽師シテ方)

地元の宝「竹生島」を芸能という視点から知るチャンスです！



申込はこちら



田茂井廣道

今年の〈芝居小屋「夏のフェスティバル」〉は、滋賀の魅力がたっぷり！

「長栄座伝承会むすひ」から

第1部 〈邦楽アラカルト〉湖国神在祭～尺八による水鳥の二景～

令和4年に人間国宝に認定された尺八奏者・野村峰山が登場し、自身が作曲した「鳩の海に」を演奏します。鳩とは、琵琶湖に多く見られるカイツブリのことです。かつて琵琶湖は「鳩の海」と呼ばれていました。



幕間 野村峰山作曲「一つのまゆから」 長浜市立伊香具小学校児童

長浜市木之本町は、蚕の絹糸から作る和楽器弦生産地として有名です。野村峰山が同町にある伊香具小学校の愛唱歌「一つのまゆから」を約20年前に作曲し、現在も歌い継がれています。野村峰山が登場するこの機会に、児童が愛唱歌を披露します。

第2部 駅名連歌 まいばらはつ ～北陸本線金沢ゆき～

北陸本線は、米原を起点に長浜などを通して金沢まで向かいます。子ども達がふるさとの詞を歌い、舞を披露します。子ども達を書いた各駅名の「書」も見ものです。そして、長浜市在住の画家による鳥瞰図も映像に登場！乗り鉄でなくても、旅に誘われること間違いなしです。



第3部 響鳴 ～日本三大弁財天と宇賀神将十五王子～近江竹生島大弁財天と五王子

芸事と財運、そして水の神である「弁財天」をテーマに、江ノ島、厳島そして竹生島と日本三大弁財天を1年毎に取り上げ、3年かけて作りあげる公演の集大成！いよいよ、「竹生島大弁財天」の登場です！「竹生島」という既存曲があることから発想された、箏曲×長唄×能(謡)の「三方掛け合」の演奏で魅せます。豪絃という珍しい楽器もお披露目します。また、早川鉄兵の切り絵が舞台を彩ります。



豪絃(木場大輔)

竹生島宝厳寺 峰覚雄管主からのメッセージ

折しも来年2024年には、宝厳寺開山1300年を迎えるにあたり、3年間にわたる「長栄座むすひ」の集大成としての本公演に竹生島をお取り上げいただく事、心より感謝申し上げます。当山は、神亀元年(724)聖武天皇の勅使として行基がこの島に渡り、天皇より託された一軀の弁財天像を安置したのが始まりと伝えられる『日本弁財天根本道場』でございます。演じられる音曲にのせて、弁財天の如意吉祥の種々の功德が、ご観覧の皆さまの元に届きますことを祈念申し上げます。

片山九郎右衛門 親子で楽しむ日本の伝統芸能～能「大会」から

能「大会」は、比叡山が舞台の天狗のお話です。片山九郎右衛門による絵本語りで物語を紐解いてくれるので、能の世界に自然に入り込めます。この公演では、滋賀にまつわる能の演目の紹介もあります。「竹生島」の舞囃子も披露。エッセンスをギュッと詰め込み、滋賀ゆかりの能楽師が演じます。



絵本語りの様子

地域創造部情報

びわ湖・アーティスト・みんぐる2023「ガチャ・コン音楽祭Vol.3」

近江鉄道沿線で実施する音楽のアートプロジェクト。今回は太鼓文化がテーマ。出会いの場「駅」を舞台に滋賀の魅力をお楽しみください。



日時 9月18日(月・祝) 15:30開演予定
会場 近江鉄道「高宮駅」ほか(彦根市高宮町)
出演 【音楽】田辺響、山本啓
【ダンス】佐藤まどか、佐藤健太郎
【美術】藤野裕美子

ディレクター 野村誠(音楽家)
お問い合わせ (公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部
TEL.077-523-7146
鑑賞には申し込みが必要です。詳しくはHPをご覧ください。



令和5年度滋賀県アートコラボレーション事業

森の音楽会

大人気の「栗コーダーカルテット」ほかの豪華共演でお贈りします。

日時 9月23日(土・祝) 14:00開演
会場 みずほ文化センター(彦根市田原町11)
出演 栗コーダーカルテット、ビューティフルハミングバード、東京楽竹団
料金 一般 2,000円 24歳以下 1,000円 自由席
チケット発売日 7月8日(土)
お問い合わせ みずほ文化センター TEL.0749-43-8111
プレイガイド びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ) みずほ文化センター(現金・電話予約可)ほか

狂言「金剛輪寺 豆の木太鼓」

金剛輪寺に伝わる昔話「豆の木太鼓」を狂言にして上演します！

日時 9月24日(日) 14:00開演
会場 愛荘町立ハーティーセンター秦荘 大ホール
出演 茂山千五郎、茂山茂、網谷正美、山下守之、コーラスしゃぼん玉
料金 一般 1,000円 24歳以下 500円 自由席
チケット発売日 6月24日(土) ※当日各200円増し※未就学児入場不可
お問い合わせ 愛荘町立ハーティーセンター秦荘 TEL.0749-37-4110
プレイガイド びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ) ハーティーセンター秦荘ほか

季刊誌 湖国と文化 第184・夏号 特集 発掘！近江～1万年の地中の星

1万3000年前の土偶「愛知川のヴィーナス」がみつかるなど、次々と掘り起こされる近江の歴史。近江での発掘調査は、日本の歴史の記述をより豊かにし、時には定説を書き換えています。湖国の発掘を担ってきたプロたちが、近年の成果を踏まえて、縄文時代以降の近江の歴史を綴ります。また、「発掘+史料」で見える世界を「小野妹子は最初の『外交官』か」「藤原氏と近江」など多彩なトピックスでお届けします。

2023年7月1日発行予定

<販売価格> 660円

<取り扱い>

県内書店、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など

<お問合せ・購入申込>

びわ湖芸術文化財団
地域創造部
「湖国と文化」編集室
(077-523-7146)



「湖国と文化」184号

びわ湖ホール25周年に寄せて

オペラ劇場の理想的なあり方を びわ湖ホールは示してきた

音楽評論家

寺西基之

今年25周年を迎えるびわ湖ホール。初代芸術監督の若杉 弘の時代にヴェルディの珍しいオペラを次々取り上げ、続く沼尻竜典の時代にはワーグナーの主要10作品を全て上演するという大偉業を成し遂げるなど、他の劇場やオペラ団体では成し得ないプロジェクトを実現させることで、日本のオペラ界の発展に大きく貢献してきた。地方の県立の劇場がこのようになっけりしたコンセプトでオペラ公演を自主制作し、高水準の上演を継続してきたことは驚嘆すべきことといてよい。

昨年度までの沼尻芸術監督のもとでの16年間をみて、活動の広がりにはワーグナーだけにとどまらない。『椿姫』『ラ・ボエーム』などの有名オペラから『ルル』『死の都』といった近代の難曲に至る演目の多彩さには目を見張られるし、沼尻以外の指揮者が振る公演においてもレアなオペラ（最近の例では園田隆一郎指揮の『つばめ』）を取り上げるなど、びわ湖でしか体験できないオリジナルな企画を打ち出してきた。

レポートの多彩さだけではない。びわ湖ホールは日本人歌手にオペラ経験を積む場を与え、優れた人材を育ててきた。専属のびわ湖ホール声楽アンサンブルから巣立って今や全国的に活躍している歌手たちはもちろんのこと、びわ湖の公演に招かれることで、大きく成長した歌手は数多い。

びわ湖でヴォータンなどの重厚な役を経験することで飛躍を成し遂げた青山 貴はその好例といえるだろう。

また沼尻は毎年“オペラ指揮者セミナー”を実施し、オペラ指揮者の養成にも力を入れてきた。こうしたオペラの人材育成という点でも、びわ湖ホールが日本オペラ界に果たしてきた役割はきわめて大きなものがある。

こうした実りある活動は、沼尻芸術監督とスタッフの深い信頼関係があったからこそ可能だったことは間違いない。芸術監督のめざすところをオペラに精通した優秀なスタッフ陣が理解して実現させていくというオペラ劇場の理想的なあり方を、びわ湖ホールは示してきた。

今年度から芸術監督に就任した阪 哲朗は、これまでのこうした財産を受け継ぎつつ、そこに欧州でのオペラ経験を基盤とする彼ならではの新たな視点を取り入れた活動を展開してくれることだろう。その一つの現れが彼による新設の“オペラ・セミナー”で、コレペティトルの育成を取り入れるという点に注目したい。叩き上げのオペラ指揮者らしいこうした発想が今後のびわ湖ホールでの活動にどう生かされるのか、まことに楽しみである。



2020年3月に無観客上演、YouTube同時無料配信されたワーグナー『神々の黄昏』より

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

チケットInformation

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147
<https://www.biwako-hall.or.jp/>

びわ湖ホール 検索



インターネット予約 <https://www.biwako-hall.or.jp/>



電話予約 チケットセンター
TEL.077 (523) 7136



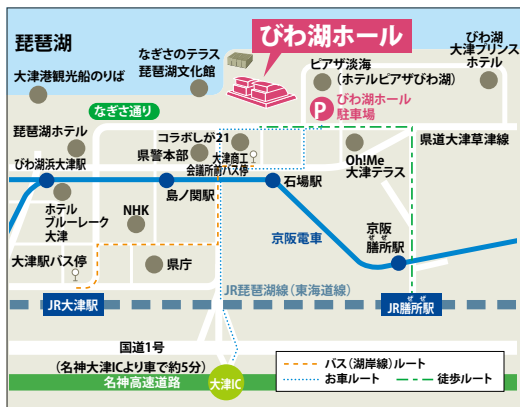
窓口販売
2階チケットセンター

10:00~19:00 / 火曜休館 ※休日の場合は翌日。

※チケット料金は消費税込の価格を表示。 ※ () 内は友の会会員料金。 ※一部公演を除き全席指定。
※一部公演を除き6歳以上入場可。

【青少年割引当日券の販売】 青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年（24歳以下）の方に、半額で当日券を発売いたします。SS~E席のみ。U30・U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものを提示ください。

【シアターメイツ優待公演】 シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い（電話・窓口のみ）。



〈アクセス〉

大阪から新快速で約40分、京都から約10分 名古屋から新幹線／京都駅のかえで約60分

●JR琵琶湖線（東海道本線）「大津」駅より徒歩約20分、またはバス「湖岸線」約5分（大津商工会議所前下車、徒歩約4分）

●JR琵琶湖線（東海道本線）「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

《駐車場の案内》 有料 849台 24時間営業 料金：7:00~23:00 1時間毎210円（4時間経過後1時間毎110円）
23:00~7:00 1時間毎110円（時間内最大料金420円）



滋賀県立文化産業交流会館
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137

TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119 <https://www.s-bunsan.jp/>

文産 検索

チケットInformation



インターネット予約 <https://biwako-arts.tstar.jp>

パソコン（座席選択可）、スマートフォン（座席選択不可）から24時間いつでもチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブン・ファミリーマートでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。（一部公演、席種を除く）

【利用方法】①チケット予約・購入 ②チケットの受取（会館窓口 or セブンイレブン・ファミリーマート）

※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。



電話予約、窓口販売 直接、下記までお問い合わせください。

滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749 (52) 5111

※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない日。年末年始（12月29日~1月3日）



〈アクセス〉

（電車でお越しの方）

JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分

（お車でお越しの方）

北陸自動車道米原インターより約10分 または 名神高速道路彦根インターより約15分

《駐車場の案内》 360台（無料）